

「森は生きています」3

もり うみ さかな そだ
森は海の魚を育てている—海と山は川によってつながっているよ！



「森が海の魚を育てている」、このタイトルを見て「川の魚を育てている」の間違いではありませんか？とある留学生に聞かれました。

いいえ、このタイトルは間違いではありません。海から遠く離れた森でも、川によって海とつながり、森は海の魚を育てているのです。

森の中の川は森の中で生まれたたくさんの栄養を海まで運びます。

海の中でも特に魚が多いのは、沿岸部、つまり川に近いところです。魚たちはちゃんと海の中でも栄養の多い場所を知っているのですね。

海は残念なことに栄養は海の底に沈んでしまいます。ですから海には栄養が足りません。魚たちが

えんがん あつ とうげん
沿岸に集まるのも当然かもしれませんね。

にほん うみ かこ
日本は「海に囲まれている」、だからぎょぎょう さかな さかな
漁業が盛んで魚もおいしいものが食べられる、確かにその通りで
すが、さかな や
魚屋さんで売られている「アジ、サバ、イワシ、タイ、スズキ、ヒラメ」などはどれもえんがんぎょぎょう
沿岸漁業
でとられたさかな
魚たちなのです。

きには ふゆ
木には冬になると葉を落とす「落葉樹」と一年中葉を落とさない「常緑樹」があります。魚たちの
えいよう
栄養のもとになる「木」は「落葉樹」の葉からたくさん生まれます。だいち おちた は
大地に落ちた葉にはたくさんのえいよう
栄養
分があり、それもまいとしあき
毎年秋になると葉が落ちるので、「定期的」にえいよう うみ はこ
栄養が海に運ばれます。

もりには てんねん
森には「天然」でできた森と「人工的」に植えられた森があります。天然林には「落葉樹」が多いので
すが、「人工林」にははや そだ
早く育つ「カラマツ」などの「常緑樹」が多く、その分、ぶん かわ はこ
川に運ばれるえいよう すく
栄養も少
ないのです。

いま にほん
今、日本にある森のうち40%が人工林だそうです。それでもてい
手入れされたもりは木が育ち、地崩れ
などを防ぐダムやわりは
役割を果たしてくれます。しかし、ひと て かんり
人の手で管理されないもりは木がどんどん増え、木は
ひかり
光にあたることができず、だいち ね
大地に根を張ることもできず、たお
倒れてくさってしまいます。にんげん
人間がつくった
「人工林」なのですから、きちんとかんり
管理しなくてははいけませんよね。

2015ねん 9がつ
2015年9月に「国連サミット」でSDGS「持続可能な開発目標」が決められましたが、その中に
「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさを守ろう」が入っています。それらの目標のためには、わたし
森を大切にしなければなりません。「森は生きている」のです。

(896字)

(2020.12 Written by Mizue SASAKI)

<参考資料>

- 「国際連合広報センター」ウェブサイト (2021.1.18確認)

https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/





この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示・非営利・継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.